

# 藻かけ



平成30年2月1日発行  
へら研阪神クラブ会報

平成三十年二月号 No.530

発行〒666-0024 川西市久代1丁目5番42号

(株)クシロ内 へら研阪神クラブ

TEL 072-759-7023 FAX 072-759-8615

Photo 柴田忠幸、伊藤規行、郷田満、滝沢享 編集 滝沢享 稲森豊、岡田寿夫、杉原武弘

## 一月例会

滝沢享

一月十四日(日)、兵庫県下の野釣り場に於いて、会員28名とオープン参加1名の参加を得て開催した。

午前6時30分播磨中央公園駐車場に集合。まだ暗い中、新年の挨拶が交わされ、今回も柴田ご夫妻のお世話で熱々の豚汁が舞われ、氷点下3度まで下がった外気温だが、体が芯から暖まります。

稲森会長の挨拶、郷田理事長よりオープン参加の三根嗣音さんが紹介されました。続いて競技方法の説明と昨日の状況報告があり、前日は氷点下7度で各池は氷結し、午後からの釣りで、どの池も不調。平池公園の池で脇阪さんが唯一釣果ありとの事。

フリーでの入池で、昨日釣れた平池公園の池や小野方面の池、濁り池などに入った昨日ほどの氷の厚みはなく、何とか竿は出せる状態だが、冷え込みが厳しくアタリが中々出ない状況が続く。小さな濁り池でさえ、ポイントムラがあり北岸ではマブナ混りで、ポツリとヘラが釣れた。

午後4時、検寸終了。墓池に入った伊藤さんが37cm級を揃え優勝。2位の田路さん、3位の杉山さんは濁り池で良型を釣り入賞。最長寸は杉山さんが釣った41.3cm。釣果率48%。

今年も熱々の豚汁をお世話頂きました柴田ご夫妻に記して謝意を表します。





大橋さん

優勝者 伊藤 規行

例会の前週一人で試釣に訪れあちこち見て廻る年末から年始にかけ数か所の池で竿を出すも濁り池以外はアタリもなく撃沈やはり困った時の濁り池と思いついてみると数名の会員さんがおられ話を聞くがやはり他は渋いこの事。その場を後にして行く当ても無く車を走らせていると通称墓池が目に入った私は過去にこの池で竿を出した事はなく名前と場所は何となく聞いた事がある程度。

とりあえずちょっと覗いてみる事に。さんと日当たりは良好！水色良し！かなり易さもよし！おまけにモジリは…さすがにある訳ないが直感でここは釣れそうな雰囲気。ただ気になるのは名の通りお墓の横と言ふ事くらいなど色々考えたが気が付けば道具を降ろし竿は1.2尺で準備完了。何とエサ打ち開始わずか40分で3.8cmをゲット。続くエサ打ちでスレアタリ。次のアタリはハリス切れ。しかし魚影の濃さは確認出来たので意気揚々と帰路に着く。

例会前日、再び墓池へ…が前回とは打って変わって寒波の影響で冷え込みが厳しく池全体がまるでスケートリンク状態。しばらく車中で氷が解けるまで時間を潰すも我慢も限界に達し石とロープを片手に碎氷作戦強行!! 何とか竿は出せたがアタリすら見る事なく氷と共に釣れる自信までもが砕け散り本日は泣く泣く帰路に着く。そして例会当日 年始の挨拶も兼ね他の釣り場情報を聞くが、どこも釣果は乏しいこの事。しかし今年も柴田さんご夫婦の温かい豚汁で釣果の事など忘れる程に心も体も温まりました。毎年ありがとうございませう。さて、朝の諸行事も終え、いざ出発。目指すは昨日撃沈した墓池 同行の岡田さん 大橋さんには申し訳ありませんでしたが私のわがままでリベンジに付き

合って頂く事に。池に到着すると前日程ではないが一部に薄っすらと氷が張っていたが先客もおらず何とか釣りは出来そうで一安心。入釣ポイントは昨日よりも水深のある中央付近に 岡田さんは先週3.8cmを釣ったお墓側に 大橋さんはその対岸に入った。前日の反省点を生かしポイントから仕掛けのセッティングも見直し餌打ち開始 相変わらず表層に氷が残る状況だが小一時間もしないうちに大橋さんの浮きには触りがあるよう。底休めを兼ね様子見に 確かに浮きの動きに変化はあるものの なかなか喰いアタリが出ない様だ。私も釣り座に戻り両グルで再開するとこちらもそれぞれいい変化が出て来た。間違いない魚は傍にいと確信。次はしっかりとグルテン餌を練り丁寧に針付けして 浮きを睨み続けると微かに動いた 瞬時に合わせを入れるもハリス切れ、合わせが強すぎたようだ。しかし焦る事はなかったさらにハリスの号数を下げて再投入 まだ魚は傍にいます。次のアタリは「ソフト」に心を掛け、小さなアタリで何とか1枚確保。色白のとても綺麗な魚体の3.7cm。まずは午前中に1枚釣れた所でコンビンへ昼食を買いに 道中近くの濁り池の様子も見に行き 池の東端はまだ氷が張ったままで 多くの会員が長竿片手にスコップで沖の浮きと睨めっこ中 状況を尋ねるがここでも1枚釣るに四苦八苦の様で困った時の濁り池も今日は思わしくないこの事。再び墓池に戻り昼食前にとりあえず一投だけと餌を打つが 床休めが長過ぎたのか何の触りもなく諦めかけて最後に誘いを掛けた直後にアタリが出て2枚目確保で昼食タイム。さらに昼食後もアタリは続くもののカラツン バラシの連続でやっと追加出来たのが本日の最長寸3.7・4cm 計3尾にて終了。一方、岡田、大橋両名人は…でした。今日は珍しく他の会員からの途中経過の連絡もほとんど無く 昨日よりも若干暖かかった事もあって さぞかし他の皆さんならもっと良型が釣れているだろうと思いつながら集合場所に戻りましたが、結果なんと私が優勝でした。まあ一日やりきった結果 数こそは釣れませんでしたが 昨年の吉井川と同様に今回も試釣の努力が結果に表れてとても嬉しい優勝でした。最後に岡田さん 大橋さん今回はお付き合ひ頂きありがとうございました。来月も僕は釣りますので現認よろしくお願ひします(笑)

一月例会成績表 (ヘラブナ二尾長寸)

優勝	伊藤 規行	74.4cm	380点
2位	田路 秀一	69.3cm	370点
3位	杉山 健一	68.6cm	360点
4位	滝沢 享	67.0cm	350点
5位	高木 勇作	65.5cm	340点
6位	山本 勉	62.2cm	330点
7位	栗原 天高	57.7cm	320点
8位	川上大二郎	37.5cm	310点
9位	井上 裕之	37.0cm	300点
10位	鈴木 誠司	36.9cm	290点
11位	瀬野 利夫	36.6cm	280点
12位	松下 英樹	35.5cm	270点
12位	三根 嗣音	35.8cm	(オープン参加)
14位	藤井 栄子	31.0cm	260点

(以下参加点100点)

藤井 秀和、北尾 博之、脇阪 博蔵  
 森田 定美、柴田 忠幸、元吉 茂司  
 白井 良紀、岡田 寿夫、板東 英昭  
 稲森 豊、郷田 満、大橋 充  
 三木 修、明石 徹、柴田美恵子

今年もまだ暗い中、熱々の豚汁が振舞われました



濁り池も南岸は不調でアタリも遠かった



小野方面の池で竿を絞る井上さん・瀬野さん



平池公園の池も不調で釣れてもコイかマブナ



藤井さん夫妻



栗原さん



杉山さん



田路さん



滝沢さん



伊藤さん



川上さん



瀬野さん



井上さん



藤井栄子さん



山本勉さん



一月例会 兵庫県下野釣り場 上位入賞者の仕掛け、エサなど

	竿	道糸	ハリス	ハリ	エサ	釣り方	釣果
優勝 伊藤規行	12尺	0.8号	0.4号	上 4号 下 3号	上下とも わたグル、いもグル	水深 1.5m 床	3枚
2位 田路秀一	15尺	1.5号	0.8号	上 7号 下 7号	上下とも いもグル、α21	水深 1.2m 床	6枚
3位 杉山健一	19尺	2.5号	0.8号	上 7号 下 7号	上 バラケG、へらスイミー 下 グルテン四季	水深 1.2m 床	2枚
4位 滝沢 享	18尺	2号	0.8号	上 7号 下 7号	上下とも 新べらグルテン わたグル、いもグル	水深 1.2m 床	2枚
5位 高木勇作	21尺	2.5号	1号	上 7号 下 7号	上 GTS、スイミー 下 α21	水深 2.5m 床	3枚